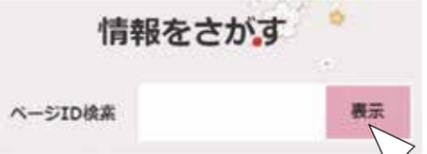


特集

新春特別対談 .....2  
くすの記新春号 .....3  
私のだざいふ、市政ニュース、トピックス ..... 4~7  
産前産後家事サポート事業を始めます ..... 8  
令和3年分確定申告のご案内 ..... 9  
新型コロナウイルスワクチンの接種について .....10  
市からのお知らせ .....11~15  
連載 .....16~26  
なんでも情報コーナー ..... 27~33  
太宰府の文化財 .....34

※掲載記事は編集作業の都合上12月13日時点までの情報に基づきます。配布時とのずれなどございましたらご了承ください。

記事ページをホームページで検索!



広報だざいふの記事にある最大7ケタのページIDを太宰府市ホームページトップの検索画面に入力すると、同じコンテンツの記事ページをさがすことができます。

私のだざいふ

太宰府市障害者施策推進協議会

会長 佐伯 幸昭さん



令和4年・寅年明けましておめでとうございます。  
国は2017年に「地域共生社会」の実現に向けた工程を公表しました。「高齢者、障がい者、子ども子育てなど、地域のあらゆる生活課題」に対してこれまでの、制度・分野の枠や、「支える側」「支えられる側」という関係を超越して、包括的支援体制の整備（施策）が、今、地域福祉の推進において求められてきています。  
2021年4月「地域福祉の推進」に当たり、  
①「相談支援」身近な地域で、福祉なんでも相談受付・解決、専門機関へのつなぎ  
②「参加支援事業」つながり・参加支援・居場所づくり・多世代間交流  
③「地域づくり事業」分野・世代を超えた地域連携、見守り・話し相手・いきがい以上、具体的に3項目を国が示しました。  
自治会（地域住民）・地域福祉事業経営者・地域福祉活動を行う者、三者が相互に連携を深め一体となり、地域において具体的な仕組みづくり・充実・強化が大切です。また、行政・支援関係機関・四者の連携・支援もますます重要です。「地域での支え合い・助け合い」世代や属性を問わない相談・地域づくりの体制づくりを目指して取り組んでまいります。今年も、地域の皆さまの温かいご理解・ご協力・ご支援を、何とぞよろしくお願い申し上げます。

民間との連携

「災害時における避難施設としての使用に関する協定」締結式

11月25日(木)に中央福岡ヤクルト販売(株)、水城区自治会、本市の三者で「災害時における避難施設としての使用に関する協定」を締結しました。

これにより、災害時の避難場所となっている水城共同利用施設に浸水の恐れがある場合に、中央福岡ヤクルト販売(株)の事務所の一部を緊急的な避難場所として利用できるようになりました。

地元企業、自治会、市の三者で避難場所に関する協定を締結するのは今回で本市初となり、水城区の西山敏幸自治会長と本市の楠田市長は中央福岡ヤクルト販売(株)の宮崎一徳代表取締役社長へ感謝の気持ちを述べました。

今後とも、市民の安心・安全の確保を最優先に考え、柔軟な発想で取り組んでいきます。



協定書にサインする三者の代表

民間との連携

明治安田生命保険相互会社との包括連携協定締結式

明治安田生命保険相互会社と11月24日(水)、包括連携協定を締結しました。この協定は、相互の資源を積極的に活用することで、よりよいまちづくりの実現を目的としたものです。

また、同社からは地域の皆さんのために役立ててもらおうと寄附金を贈呈していただきました。

今後は、令和発祥の都PRキャラクターのタビットをデザインした特定健診・がん検診の啓発チラシの配布を行い受診率の向上を図るなど、市民の健康増進や市民サービスの向上を目指し協働で取り組んでいきます。



左から明治安田生命保険相互会社の生井俊夫福岡支社理事支社長、楠田市長、清水副市長

民間との連携

エフコープ生活協同組合と包括連携協定締結しました

エフコープ生活協同組合と包括連携協定を10月14日(木)に締結しました。この協定は、相互の資源を活用し、よりよいまちづくりの実現と相互の発展を目的とするものです。

フードドライブ

連携事業として、食品ロス削減のためフードドライブを実施しました。10月25日~29日に市役所に受け取り箱を設置し、各家庭で使いきれない未使用の食品を持ち寄っていただいたものをフードバンク団体や地域の福祉施設・団体に寄贈しました。ご協力いただきありがとうございました。

今後は市民の森のウォーキングコースの看板設置や宅配事業の周知などを通じて、市民の健康増進や利便性向上に向けて協働で取り組みます。



市役所に設置したフードドライブ受け取り箱

民間との連携

fun(移動販売)と「高齢者等の見守りに関する協定」締結

fun(移動販売)と「高齢者等の見守りに関する協定」を10月21日(木)に締結しました。

この協定は、日頃の地域住民による見守り活動に加え、各家庭を訪問・交流する機会の多い事業者が日常業務を通じて、高齢者などの異変を察知した場合に、市に通報していただき、早期に問題解消することを目的としています。

協定の締結式には、森口裕也代表と、ご家族で移動販売を担う森口政彦さん、美幸さんが出席し、「いつも見かける高齢者の人がいつもの時間に来ないと気になる。道路に腰かけている高齢者がいると声をかける」など、地域を巡るなかで気づく見守りに大切な視点を共有していただきました。

協定締結を契機に、これまで以上の見守り体制の強化および安心して暮らせる地域づくりに努めてまいります。



左から fun の森口美幸さん、森口政彦さん、森口裕也代表と楠田市長

市政ニュース

先進教育の推進

「デジタルものづくり講座」と「プログラミング授業」を開催!

デジタルものづくり講座

コロナ禍によりさまざまな制約を受けている学生を支援し、ものづくりなどを通して次世代人材の育成を推進するため、(株)グッデイが運営するファブラボ太宰府にて11月11日(木)、「デジタルものづくり講座」を開催しました。

参加した太宰府高校芸術科の生徒は、自らデザインしたネームプレートやスタンプなどをレーザーカッターで制作しました。デザインの考案から機器の操作まで、意欲的に楽しみながら取り組んでいました。



レーザーカッターを操作する生徒たち

プログラミング授業

プログラミング教育の一環として、太宰府東小学校の6年生の理科の授業の中で11月22日(月)、(株)イーケイジャパンが開発したプログラミングモジュールを教材として活用するプログラミング授業を行いました。

児童は1人1台配布されているタブレット端末を使い、講師の指導を受けながらWebアプリを用いてLEDライトを点灯させるプログラムを作成しました。

授業を受けた児童たちは、教材を実際に動作させることで視覚的にプログラムを理解することができていました。



自作したプログラムでLEDを点灯させる児童たち

# まちのトピックス

## 団体からの寄附

### 公益社団法人筑紫法人会から図書などを寄贈

公益社団法人筑紫法人会からの寄贈品贈呈式が11月24日(水)、行われました。同会では毎年地域社会貢献活動として、中学校への図書寄贈と地域福祉に寄与している団体に対してチャリティーゴルフ大会の益金による物品寄贈が行われています。

本年は、本市の4中学校へ159冊の図書と、「NPO法人子育てサポートぼびんず」と「太宰府子ども劇場」の2団体へ活動のための物品が寄贈されました。



左から筑紫法人会永田敏悟理事、寺崎盛行常任理事、有吉重幸副会長、NPO法人子育てサポートぼびんず藤本史子代表、太宰府子ども劇場小川則子事務局次長、中学校校長代表小宮雅弘校長、楠田市長、清水副市長、樋田教育長

## 市民表彰

### 筑紫地区少年愛護連盟表彰

11月19日、春日市ふれあい文化センターで筑紫地区少年愛護連盟表彰式が開催されました。本市から以下の人が表彰されました。



**拾得物届け**  
阪本 有悟 (水城小学校2年)

**高齢者への介助**  
松本 蒼太 (水城小学校3年)  
飯川 悠加 (学学院中学校3年)  
ほか1人

**高齢者への援助**  
和田 徠夢 (太宰府中学校1年)  
森田 ゆら (学学院中学校3年)

**動物保護**  
定立 留衣 (福岡農業高等学校1年)  
米村 咲希 (福岡農業高等学校1年)

## 地域貢献

### 大宰府政庁跡を清掃

大宰府政庁跡周辺の清掃活動が、太宰府市産業推進保友会(会長:宮原康則さん)により11月20日(土)、行われました。同会は、市内の土木・建築・造園・管工事・コンサルタントなどの事業者が結集し、災害復旧や地域貢献活動をより大きな力で行えるようにという思いから、平成30年に設立されました。

当日はボランティアとして約60人が集まり、草刈りや濠の清掃などを行いました。慣れた様子で機械を操作し、本市の象徴でもある大宰府政庁跡がみるみるきれいになっていきました。



清掃活動の様子

## 史跡地の保存・活用

### 古代大宰府を一望する巨大ジオラマが公開されました

古代大宰府の街並みを一望する巨大ジオラマが完成し、11月から大宰府展示館で公開されています。

制作者は広島県在住の森野晴洋さん。大学時代を福岡で過ごす中で太宰府の歴史や史跡に関心を寄せられ、古代大宰府の当時の様子が一目でわかるジオラマがあれば、訪れる人により関心を持ってもらえるのではと、古都大宰府保存協会に相談し、約2年をかけてボランティアで制作されました。

ジオラマのスケールは750分の1。再現された「大宰府条坊」はおよそ2km四方の広さの碁盤目をもつ古代の街で、このうち御笠川より南側、東西6坊ずつの範囲が一望できます。当時の人々が活動する場面も再現するなど、大宰府展示館学芸員と何度もやりとりし、細部にまでこだわった作品となっています。

大宰府跡・水城跡の史跡指定100年の節目の年に、最新研究をもとに完成したジオラマです。ぜひご覧ください。



公開されたジオラマ

## 令和発祥の都 梅プロジェクト 新メニュー・新製品を続々発表!

「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト」とは、本市の「梅」を更にブランディングして地場みやげやふるさと納税返礼品に仕立て上げ、税収や経済効果を高めようとするものです。

### HOTEL CULTIA太宰府「梅グルメ・スイーツ」発表式典 11月26日(金)

バリューマネジメント(株)と(株)太宰府 Co-Creation が太宰府の梅を料理のソースやスイーツに使用した新メニューを開発し、その発表会がHOTEL CULTIA 太宰府で開催されました。特別な場所で太宰府の魅力を感じながら、「令和発祥の都太宰府の梅」を堪能できる新メニューとして、レストランの利用者や宿泊客に提供されます。※12月末日までの期間限定です。

当日、試食した参加者は、豪華な「博多和牛ロース肉のグリエ 太宰府梅のソース・ヴァンルーージュ」と「アフタヌーンティー 令和発祥の都太宰府『梅』を使用したスイーツとともに」に舌鼓を打ちました。

HOTEL CULTIA 太宰府では、その土地の野菜などを使った地産地消のメニューにこだわっています。市においても、市内農産物の生産・出荷を増やすために地産地消推進補助金を交付し、梅をはじめとする太宰府の農産物を増やす取り組みにより農家のみなさんを応援しています。



発表された新メニュー

### 「ポテトチップス合格する梅 梅かつお味」発売記念新作発表会・寄附金贈呈式 12月1日(水)

カルビー(株)と福岡農業高校が、令和発祥の都太宰府の梅を100%使用して作った「ポテトチップス合格する梅 梅かつお味」の新作発表会を行いました。このシリーズは、福岡農業高校とカルビー(株)の「地元の梅を使用した商品で受験生を応援したい」という想いが合致して2013年度から始まり、本年は梅プロジェクトの主力商品の一つでもあります。新作のキャッチコピーは「受験にかつおまじないで、合格一本釣り!」。縁起良く、一本釣りのように合格をつかみ取ってほしいという想いが込められています。

福岡農業高校3年食品科学科 梅研究班の村岡莉沙班長は、「多くの方に手に取っていただき、少しでも多くの受験生や皆さんの力になれば嬉しいです」と話しました。受験生にとっての希望、また太宰府の梅のブランド価値を高める珠玉の一品となっています。

12月13日(月)から中国・四国・九州エリアにて数量限定で発売します。商品はなくなり次第終了となります。

※コンビニエンスストアでの取り扱いはありません。

同日は、寄附金贈呈式も行われ、カルビー(株)より昨年度販売した同シリーズの売上金の一部を、市に寄附していただきました。



発表会参加者



新製品(左は原料の梅肉ペースト)

## 大学生との対話 「学生と市長との意見交換会」開催!

11月5日(金)、太宰府キャンパスネットワーク会議主催で、恒例の市内5大学の学生と楠田市長の意見交換が行われました。テーマは「Withコロナの生活について」と「アフターコロナで地域と私たち大学生ができること」でした。

学生たちからは、以前よりも対面授業が増えた喜び、中止となった行事の再開に関する課題、地域から受けた支援への感謝、コロナ後の地域活動への参加意欲など、さまざまな思いが聞かれました。これに対して、楠田市長は学生たちの気持ちに寄り添いつつ、ここ2年間耐えてきた気持ちをこの先の前向きな力に変えてほしいと激励しました。



意見交換会の様子